

横浜の川と海の生物

(第12報・河川編)

概要版



平成21年2月

横浜市環境科学研究所

目次

1. 調査概要	1
図 1 調査地点	2
2. 調査結果（水系別まとめ）	3
図 2 横浜市内河川の水生生物による水質評価結果	10
3. 各水系における調査結果概要	11
4. 各区における結果	14
4.1 区別集計結果	14
4.2 各区における結果概要	18
青葉区で確認された水生生物	19
旭区で確認された水生生物	20
泉区で確認された水生生物	21
磯子区で確認された水生生物	22
金沢区で確認された水生生物	23
港南区で確認された水生生物	24
港北区で確認された水生生物	25
栄区で確認された水生生物	26
瀬谷区で確認された水生生物	27
都筑区で確認された水生生物	28
鶴見区で確認された水生生物	29
戸塚区で確認された水生生物	30
保土ヶ谷区で確認された水生生物	31
緑区で確認された水生生物	32
南区で確認された水生生物	33

1. 調査概要

横浜市は、市内を流れる河川の6水系（鶴見川、帷子川、大岡川、境川、宮川、侍従川）について3年に1度の割合で、魚類、底生動物、水草、付着藻類、水質などの調査を実施し、河川の水質環境を評価しています。近年の下水道の普及に伴い、横浜市内を流れる河川の水質はかなり改善されてきており、生息する水生生物も以前に比べると多様になってきています。この概要版では、2008年に実施した調査結果を主にまとめました。

【調査内容】

横浜市内を流れる6水系41地点で、水生生物の調査を2008年9月に行いました。調査対象とした水生生物は、魚類、底生動物（エビ、カニ、貝類、水生昆虫など）、水草（オランダガラシを含む）です。またアユ流下仔魚の調査を2008年11月に行いました。

【調査結果概要】

魚類は46種2品種の合計48種、底生動物は172種、水草は7種が確認されました。このうち重要種は22種、外来種等は24種でした。またその他の重要種として付着藻類の4種が確認されました。

アユの流下仔魚は調査を行った5水系（鶴見川・帷子川・大岡川・境川・侍従川）で確認され、横浜市内の河川でもアユが産卵を行い、回遊していることがわかりました。

水生生物から水質を評価すると、41地点のうち「大変きれい」が22地点、「きれい」が14地点、「やや汚れている」が1地点、「汚れている」が1地点、「評価できない」が3地点でした。

横浜市内の河川の源流域～上流域は、アブラハヤやサワガニなど「大変きれい」となる種が多く生息していて、水質環境は良好であると言えます。さらに中流～下流域についてもアユやウグイ、ナミウズムシなど「きれい」となる種が多く生息していて、水質環境は良好であると言えます。ただし感潮域の調査地点では、指標となる川の生物が少なく水質評価ができなかったところがありました。



図1 調査地点 (流域は概略)

2. 調査結果（水系別まとめ）

〔魚類〕

魚類は46種2品種の合計48種が確認されました。確認された種数は河川の大きさに比例しており、境川水系が32種で最も多く、次いで鶴見川水系の30種でした。

表1 確認された魚類

No.	科名	種名	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川
1	ウナギ	ウナギ	●			●		
2	コイ	コイ	●	●		●	●	
3		イロゴイ				●	●	
4		ギンブナ	●			●		
5		タイリクバラタナゴ	●					
6		オイカワ	●	●	●	●		
7		アブラハヤ	●		●	●		
8		タカハヤ			●			
一		ヒメハヤ属			●			
9		マルタ			●			
10		ウグイ	●	●		●		
11		モツゴ	●	●	●	●		
12		タモロコ	●	●	●	●		
13		カマツカ	●					
14	ドジョウ	ドジョウ	●	●	●	●		
15		シマドジョウ			●			
16		ホトケドジョウ	●	●	●	●		
17	ナマズ	ナマズ				●		
18	アユ	アユ	●	●	●	●		
19	ボラ	ボラ	●		●	●		
20		セスジボラ				●		
21	カダヤシ	カダヤシ	●			●		
22		グッピー				●		
23	メダカ	メダカ	●	●	●	●	●	
24		ヒメダカ	●		●	●		
25	スズキ	スズキ	●					
26	シマイサキ	コトヒキ					●	
27	サンフィッシュ	ブルーギル	●					
28		オオクチバス	●					
29	クロサギ	クロサギ				●		
30	カワアナゴ	カワアナゴ				●		
31	ハゼ	ボウズハゼ				●		
32		スミウキゴリ	●	●	●	●		●
33		ウキゴリ		●	●			
34		ビリンゴ	●		●		●	●
35		ウロハゼ	●					
36		マハゼ	●		●	●	●	●
37		アシシロハゼ				●		
38		ヒメハゼ				●	●	
39		ヒナハゼ	●			●		
40		アベハゼ	●		●			●
41		ゴクラクハゼ				●		
42		シマヨシノボリ			●	●		
43		オオヨシノボリ				●		
44		トウヨシノボリ	●	●	●	●		
45		カワヨシノボリ	●					
46		ヌマチチブ	●	●	●	●		
47		チチブ	●				●	●
48	フグ	クサフグ					●	
種数			30	13	21	32	9	5
調査地点数			12	4	7	13	2	3

※コイなど、調査時・地点で確認されないときは●にならないことがあります。

環境省レッドリスト（環境省 RL）と神奈川県レッドデータブック（神奈川県 RDB）に該当する種は、15 種でした。ただしメダカについては放流による交雑で在来個体群とは言えない可能性があります。またコイは放流されていることから、在来のコイが生息しているかは不明です。水系別には境川水系が 12 種と最も多く、次いで鶴見川の 8 種でした。境川水系は、カワアナゴやボウズハゼなどの回遊性の貴重種が多く確認されました。

表 2 魚類貴重種

環境省 RL	神奈川県 RDB	種名	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川	備考	
絶滅危惧 IB 類	絶滅危惧 IB 類	ホトケドジョウ	●	●	●	●				
絶滅危惧 II 類	絶滅危惧 IA 類	メダカ	●	●	●	●	●		放流の可能性	
情報不足	-	ウナギ	●			●				
-	絶滅危惧 IB 類	カワアナゴ				●				
	絶滅危惧 II 類	マルタ			●					
	準絶滅危惧	アブラハヤ	●		●	●				
		ウグイ	●	●		●				
		カマツカ	●							
		シマドジョウ			●					
		ボウズハゼ					●			
		スミウキゴリ	●	●	●	●		●		
		ゴクラクハゼ					●			
	オオヨシノボリ					●				
注目種	ナマズ				●					
情報不足	コイ	●	●		●	●		放流の可能性		
種数			8	5	6	12	2	1		

人為的に持ち込まれた種は 10 種で、いずれも純淡水魚（一生を川で生活する魚）でした。これは確認種 48 種の約 20%、純淡水魚 22 種の 45% に相当します。つまり純淡水魚のうち半数近くの種が人為的に持ち込まれていることとなります。このうち海外から持ち込まれた外来種としては、外来生物法で特定外来生物に指定されている種が 3 種、規制対象外の要注意外来生物は 2 種です。そのほかに、国内他地域からの移入種が 3 種、改良品種は 2 種確認されました。水系別には鶴見川水系が 7 種で最も多く、次いで境川水系の 5 種でした。

表 3 魚類の外来種・国内移入種・改良品種

カテゴリー等	種名	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川
特定外来生物	カダヤシ	●			●		
	ブルーギル	●					
	オオクチバス	●					
要注意外来生物	タイリクバラタナゴ	●					
	グッピー				●		
国内移入種	タカハヤ			●			
	タモロコ	●	●	●	●		
	カワヨシノボリ	●					
改良品種	イロゴイ				●	●	
	ヒメダカ	●		●	●		
種数		7	1	3	5	1	0

[アユ流下仔魚]

横浜市内の河川でもアユが産卵して仔魚が海に下っていることが確認されました。流下仔魚は帷子川と境川で多く確認されましたが、鶴見川は河川の大きさの割にあまり多くは確認されませんでした。

表4 アユ流下仔魚捕獲個体数

水系	地点名	流下仔魚捕獲個体数 ／3時間	推定総流下個体数 ／3時間
鶴見川	亀の甲橋	4	220
帷子川	横浜新道下	744	12382
大岡川	花見橋	27	1347
境川	遊水地橋	917	17045
侍従川	天王橋	2	9



アユ成魚



採集されたアユ仔魚



アユ流下仔魚調査（一定時間網を設置して捕獲）

[底生動物]

底生動物は172種が確認されました。境川水系が121種と最も多く、次いで大岡川水系が98種、鶴見川水系が96種でした。横浜市内に源流がある大岡川水系の種数が多いことが特徴的です。

表5-1 確認された底生動物（水系別）

No.	綱名	目名	科名	種名	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	富川	侍従川
1	渦虫綱	ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ	●	●	●	●	●	●
2	腹足綱	ニナ目	タニシ科	ヒメタニシ	●	●	●	●	●	●
3			カワニナ科	カワニナ	●	●	●	●	●	●
4				チリメンカワニナ					●	●
5			ミズゴマツボ科	ウミゴマツボ					●	●
6			ミズツボ科	コモチカワツボ			●		●	●
7		モノアラガイ目	カワコザラガイ科	カワコザラガイ			●	●		
8			モノアラガイ科	ヒメモノアラガイ			●	●		●
9				モノアラガイ科	●	●	●	●		
10			サカマキガイ科	サカマキガイ		●	●	●	●	●
11	二枚貝綱	マルスダレガイ目	イガイ科	コウロエンカワヒバリガイ					●	●
12			シジミ科	タイワンシジミ	●	●	●	●		
13				マシジミ						
14			マメシジミ科	マメシジミ属	●	●	●	●	●	●
15			カワホトトギス科	イガイダマシ	●					
16	多毛綱	サンバゴカイ目	ゴカイ科	ヤマトカワゴカイ	●			●	●	●
17			イトゴカイ科	イトゴカイ	●		●		●	
18	貧毛綱	ナガミミズ目	イトミミズ科	エラムミズ	●			●		
19				エラオイミズミミズ属	●					
20				ミズミミズ亜科	●		●	●	●	
21				イトミミズ亜科	●	●	●	●	●	●
22		-	-	貧毛綱	●	●	●	●		
23	蛭綱	ウオビ目	グロシフォニ科	ヌマビル	●			●		
24		イシビル目	イシビル科	シマイシビル	●	●	●	●		
25				ピロウドイシビル	●	●	●	●		
26		アゴビ目	ヒルド科	ウマビル	●					
27	顎脚綱	フジツボ目	フジツボ科	タテジマフジツボ						●
28				アメリカフジツボ						●
29	軟甲綱	ワラジムシ目	タナイス科	キシイタナイス			●		●	●
30			コツプムシ科	イソコツプムシ属	●					
31			ミズムシ科	ミズムシ	●	●	●	●	●	
32		ヨコエビ目	ユンボソコエビ科	ニホンドロソコエビ	●				●	●
33			マミズヨコエビ科	フロリダマミズヨコエビ	●	●		●		
34			キタヨコエビ科	アゴトゲヨコエビ				●		
35			ヌマエビ科	ヤマトヌマエビ			●	●		
36				ミゾレヌマエビ	●			●		
37				ミナミヌマエビ	●	●		●		
38				ヌマエビ						●
39				ヌカエビ	●	●	●	●	●	
40			テナガエビ科	ミナミテナガエビ				●		
41				ヒラテナガエビ				●		
42				テナガエビ	●	●		●		
43				ユビナガスジエビ	●		●		●	●
44				スジエビ	●	●		●		
45				スジエビモドキ				●		
46			アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ		●	●	●	●	
47			ハサミシャコエビ科	ハサミシャコエビ						●
48			ホンヤドカリ科	ユビナガホンヤドカリ						●
49			イワガニ科	クロベンケイガニ	●		●			●
50				モクズガニ	●	●		●		
51				ケフサイソガニ	●					
52			サワガニ科	サワガニ	●	●	●	●		●
53	昆虫綱	カゲロウ目	コカゲロウ科	ミツオミジカオフタバコカゲロウ	●	●		●		
54				ヨシノコカゲロウ			●		●	●
55				フタバコカゲロウ		●				
56				サホコカゲロウ	●	●	●	●		
57				フタモンコカゲロウ	●	●	●	●		●
58				シロハラコカゲロウ	●	●	●	●	●	●
59				Jコカゲロウ				●		
60				フタバカゲロウ属	●					
61				ウスイロフトヒゲコカゲロウ	●	●		●		
62				Dコカゲロウ	●	●		●		
63				ヒメウスバコカゲロウ属	●		●			
64				Hコカゲロウ	●	●	●	●	●	
65			ヒラタカゲロウ科	シロタニガワカゲロウ	●					
66			モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ			●	●		●
67			ヒメシロカゲロウ科	ヒメシロカゲロウ属			●	●		
68		トンボ目	イトトンボ科	クロイトトンボ属				●		
69				アジアイトンボ				●		
70			カワトンボ科	ハグロトンボ	●	●	●	●		
71				ニホンカワトンボ	●					
72				アサヒナカワトンボ			●	●	●	●
73			サナエトンボ科	ヤマサナエ	●	●	●	●	●	●
74				ダビドサナエ			●	●		●
75				オナガサナエ			●	●		
76				コオニヤンマ	●		●	●	●	
77			ヤンマ科	クロスジギンヤンマ			●	●		
78				ギンヤンマ	●		●	●		
79				コシボソヤンマ			●	●		
80				ミルンヤンマ		●	●	●	●	●
81			オニヤンマ科	オニヤンマ	●	●	●	●	●	●
82			エゾトンボ科	コヤマトンボ	●	●	●	●		

表5-2 確認された底生動物（水系別）

No.	綱名	目名	科名	種名	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	富川	侍従川					
83	昆虫綱	トンボ目	トンボ科	ショウジョウトンボ			●		●						
84				シオカラトンボ	●		●	●	●						
85				オオシオカラトンボ		●		●							
86				コシアキトンボ		●		●							
87				カワゲラ目	オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属			●	●	●	●			
88						オナシカワゲラ属	●	●	●	●	●	●			
89						ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ属			●	●	●	●		
90				カワゲラ科	ヤマトフタツメカワゲラ	●		●	●	●	●				
91				カメムシ目	イトアメンボ科	イトアメンボ		●							
92						アメンボ科	アメンボ		●	●	●	●			
93						シマアメンボ		●	●	●	●	●			
94						タイコウチ科	タイコウチ	●							
95						ミズカマキリ		●							
96						ミズムシ科	チビミズムシ属				●	●			
97				センブリ科	センブリ属				●	●					
98				ヘビトンボ目	ヘビトンボ科	ヤマトクロスジヘビトンボ		●	●	●	●	●			
99						ヘビトンボ			●	●	●	●			
100				トビケラ目	カワトビケラ科	コタニカワトビケラ属			●	●	●	●			
101						コガタシマトビケラ	●	●	●	●	●	●			
102						ナミコガタシマトビケラ		●	●	●	●	●	●		
103						ウルマーシマトビケラ	●	●	●	●	●	●	●		
104						クダトビケラ科	クダトビケラ属	●	●	●	●	●	●		
105						イワトビケラ科	ミヤマイワトビケラ属			●	●	●	●		
106						ヒメトビケラ科	ヒメトビケラ属	●	●	●	●	●	●		
107						カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属			●	●	●	●		
108						ヒゲナガトビケラ科	アオヒゲナガトビケラ属	●	●	●	●	●	●		
109						ホソバトビケラ科	ホソバトビケラ		●						
110						ケトビケラ科	ケマガトビケラ				●	●	●		
111						コウチュウ目	ゲンゴロウ科	モンキマメゲンゴロウ	●		●				
112								シジミガムシ属			●	●	●	●	
113								ガムシ科	ガムシ科(幼虫)		●	●	●	●	
114								ホタル科	ゲンジボタル(幼虫)	●		●	●	●	●
115				ヒラタドROMシ科	チビヒゲナガハナノミ属					●					
116				ヒメマルヒラタドROMシ									●		
117				ヒメドROMシ科	ヒメドROMシ科(幼虫)						●				
118				ハエ目	ガガンボ科	ヒメガガンボ属	●	●	●	●	●	●			
119						Dicranota属		●	●	●	●	●			
120						Erioptera属	●								
121						ヒゲナガガガンボ属		●	●	●	●	●	●		
122						Limnophila属				●	●	●	●		
123						Limonia属				●	●	●	●		
124						Ormosia属				●	●	●	●		
125						Yamatotipula亜属	●	●	●	●	●	●	●		
126						ガガンボ属	●	●	●	●	●	●	●		
127						ガガンボ科									
128						ホソカ科	ホソカ属		●	●	●	●	●		
129						カ科	カ科						●		
130						チョウバエ科	チョウバエ属	●	●	●	●	●	●		
131						オオケチョウバエ属	●			●	●	●	●		
132						ブユ科	ツノマユブユ属	ツノマユブユ属	●	●	●	●	●	●	
133								ブユ属	●	●	●	●	●	●	●
134						ユスリカバエ科	ユスリカバエ科			●	●	●	●		
135						ヌカカ科	Bezzia属	Bezzia属	●	●	●	●	●	●	
136								ヌカカ科							
137						ユスリカ科	ホカシヌマユスリカ属	ホカシヌマユスリカ属	●	●			●	●	
138								コヒメユスリカ属				●	●	●	●
139								ヤマトヒメユスリカ属	●	●	●	●	●	●	●
140								ケブカエリユスリカ属	●	●	●	●	●	●	●
141								ハダカエリユスリカ属	●	●	●	●	●	●	●
142								ツヤユスリカ属	●	●	●	●	●	●	●
143								テンマクエリユスリカ属			●	●	●	●	●
144								エラノリユスリカ属			●	●	●	●	●
145								キリカキケバネエリユスリカ属	●		●	●	●	●	●
146								コガタヒメユスリカ属	●						
147								エリユスリカ属	●						
148								ニセトゲアシエリユスリカ属				●	●	●	●
149								ニセナガレツヤユスリカ属	●	●	●	●	●	●	●
150								ニセケバネエリユスリカ属		●	●	●	●	●	●
151				クロツヤエリユスリカ属	●			●	●	●	●	●	●		
152				ナガレツヤユスリカ属	●			●	●	●	●	●	●		
153				ヌカユスリカ属	●			●	●	●	●	●	●		
154				セスジユスリカ	●			●	●	●	●	●	●		
155				ユスリカ属	●			●	●	●	●	●	●		
156				カマガタユスリカ属	●			●	●	●	●	●	●		
157				ホソミユスリカ属	●			●	●	●	●	●	●		
158				セボリユスリカ属	●			●	●	●	●	●	●		
159				ナガスネユスリカ属				●							
160				ツヤムネユスリカ属					●				●		
161				カワリユスリカ属					●	●	●	●	●		
162				ハモンユスリカ属	●			●	●	●	●	●	●		
163				ナガレユスリカ属	●			●	●	●	●	●	●		
164				ハムグリユスリカ属			●	●	●	●	●				
165				アシマダラユスリカ属	●	●	●	●	●	●	●				
166				ヒゲユスリカ属	●	●	●	●	●	●	●				
167				ナガレアブ科	クロモンナガレアブ	クロモンナガレアブ	●		●	●	●	●			
168						コモンナガレアブ	●		●	●	●	●	●		
169						サツマモンナガレアブ	●						●		
170				ミズアブ科	ミズアブ科			●	●	●	●				
171				オドリバエ科	オドリバエ科			●	●	●	●				
172				アシナガバエ科	アシナガバエ科	●			●	●	●				
種数					96	65	98	121	53	71					
調査地点数					12	4	7	13	2	3					

環境省レッドリスト（環境省 RL）と神奈川県レッドデータブック（神奈川県 RDB）に該当する種は7種でした。貝類のマシジミの他は、すべてトンボ類でした。

表6 確認された貴重種

環境省 RL	神奈川県 RDB	種名	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川
準絶滅危惧	—	マシジミ				●		
—	準絶滅危惧	ニホンカワトンボ	●					
		コヤマトンボ	●		●	●		
	要注意	ハグロトンボ	●	●	●	●		
		ヤマサナエ	●	●	●	●	●	●
		コシボソヤンマ			●	●	●	
		ミルンヤンマ		●	●	●	●	●
種数			4	3	5	6	3	2

そのほかに水辺の目標種であるゲンジボタルは、8地点で確認されました。横浜市内でも、源流域の生息地では、ゲンジボタルを見ることが出来ます。



ゲンジボタルの幼虫

表7 ゲンジボタル確認地点

水系	地点名
鶴見川	寺家川・山田谷戸
	梅田川・神明橋
大岡川	氷取沢・左
	氷取沢
境川	舞岡川・宮根橋上流
	稲荷川・杉之木橋上流
宮川	清水橋上流
侍従川	金の橋上流

人為的に持ち込まれた種は11種（疑いを含む）が確認されました。貝類が6種、エビ・カニ類が3種、フジツボ類が2種でした。このうち海外から持ち込まれた外来種は10種でした。外来生物法で特定外来生物に指定されている種はありませんでしたが、規制対象外の要注意外来生物が5種確認されました。

これらの種のうちコウロエンカワヒバリガイ、イガイダマシ、タテジマフジツボ、アメリカフジツボの4種は、汽水～海水に生息する種です。淡水に生息する種では、最近国内で分布を拡大しているコモチカワツボ、フロリダマミズヨコエビなどが確認されました。また国内他地域からの移入種と思われるミナミヌマエビが確認されました。

表8 確認された外来種・国内移入種

カテゴリー等	種名	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川
要注意外来生物	コウロエンカワヒバリガイ					●	●
	タイワンシジミ	●	●	●	●		
	イガイダマシ	●					
	タテジマフジツボ						●
	アメリカザリガニ	●	●	●	●	●	
外来種	コモチカワツボ			●		●	
	サカマキガイ		●	●	●	●	●
	アメリカフジツボ			●		●	●
	フロリダマミズヨコエビ	●	●		●		
外来種？	モノアラガイ科	●	●	●	●		
国内移入種？	ミナミヌマエビ	●	●		●		
種数		6	6	6	6	5	4

【水草】

水草は7種が確認されました。在来種は3種確認されましたが、貴重種はありませんでした。また人為的に持ち込まれた種は4種確認されました。このうちオオフサモは、外来生物法で特定外来生物に指定されています。その他に規制対象外の要注意外来生物が3種確認されました。

表9 確認された水草とカテゴリー等

カテゴリー等	種名	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川
要注意外来生物	オランダガラシ		●			●	
特定外来生物	オオフサモ	●					
要注意外来生物	オオカナダモ	●	●				
	コカナダモ			●			
(在来種)	エビモ			●			
	ヤナギモ	●		●			
	アイノコイトモ				●		
種数		3	2	3	1	1	0

【付着藻類（抜粋）】

補足調査、別途行われた付着藻類調査で確認された重要種は4種で、いずれも紅藻類でした。

表10 付着藻類調査で確認された貴重種

環境省 RI	神奈川県 RDB	種名	鶴見川	帷子川	境川	大岡川	宮川	侍従川
絶滅危惧Ⅱ類	—	オオイシソウ	●	●	●	●		
準絶滅危惧	—	アオカワモズク	●					
		チャイロカワモズク	●	●	●			
		タンスイベニマダラ				●		●
種数			3	2	2	2	0	1

[水質評価]

調査で確認された生物種から、横浜市の生物指標を用いて水質評価を行いました。「大変きれい」、「きれい」をあわせると、全地点の88%という結果になりました。「汚れている」、「評価できない」の地点は、いずれも感潮域で評価が難しい水域でした。

表 11 水質評価をした地点数

評価	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川	地点数 (割合)
大変きれい	4	2	5	8	1	2	22 (54%)
きれい	7	2	1	4	0	0	14 (34%)
やや汚れている	1	0	0	0	0	0	1 (2%)
汚れている	0	0	0	1	0	0	1 (2%)
評価できない	0	0	1	0	1	1	3 (7%)
地点数	12	4	7	13	2	3	41

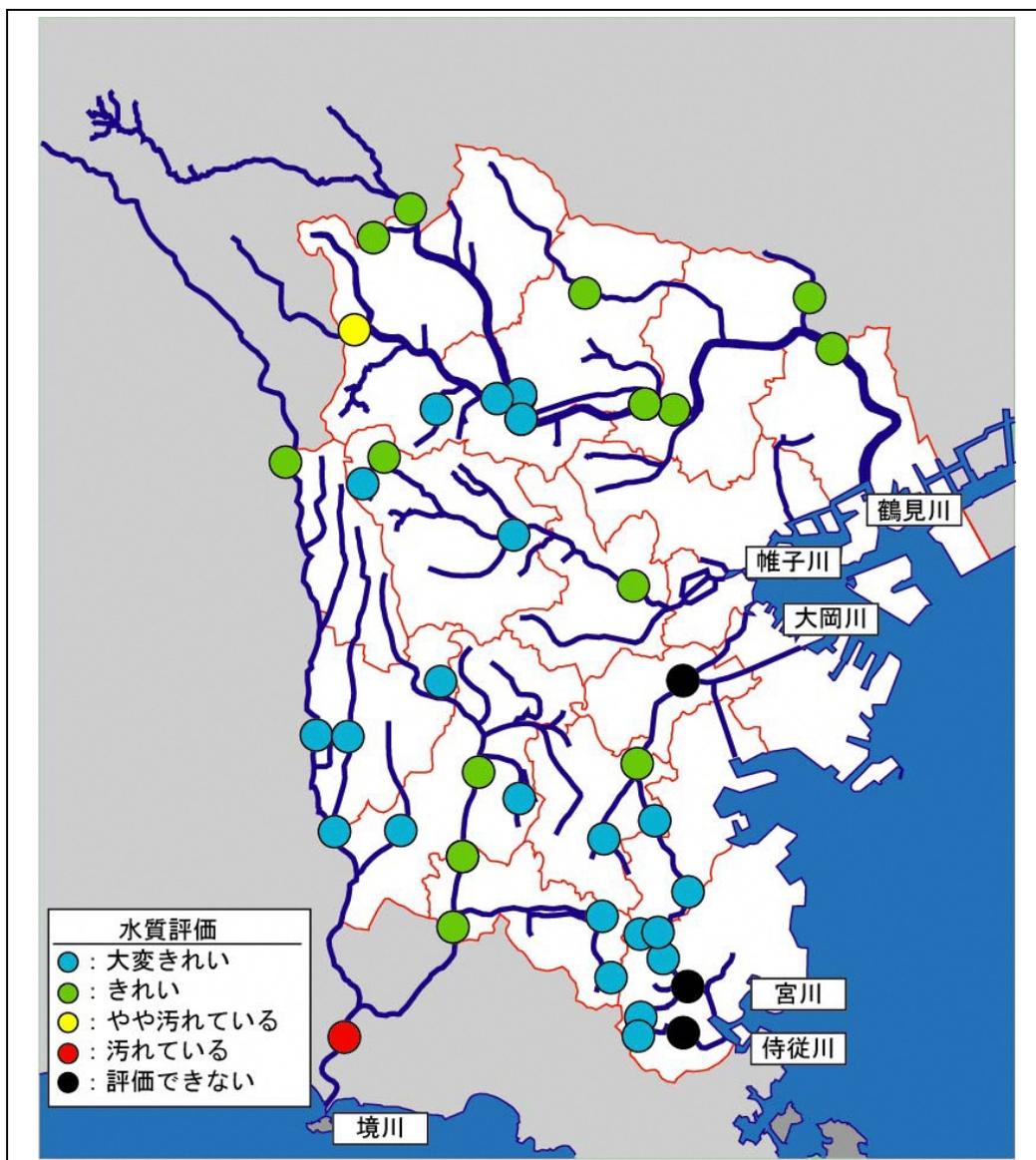


図 2 横浜市内河川の水生物による水質評価結果 (2008年夏)

3. 各水系における調査結果概要

〔鶴見川水系〕

神奈川区を除く青葉区、緑区、都筑区、港北区、鶴見区の12地点で、魚類30種、底生動物96種、水草3種が確認されました。またアユの流下仔魚が確認されました。鶴見川でアユは回遊しているようです。

貴重種は15種が確認されました。このうち魚類はホトケドジョウ、アブラハヤなど8種、底生動物はニホンカワトンボなど4種、付着藻類はアオカワモズクなど3種でした。

人為的に持ち込まれた種は、他の水系と比べて最も多い15種が確認されました。魚類は特定外来生物のカダヤシ、ブルーギル、オオクチバスなど7種、底生動物は要注意外来生物のアメリカザリガニなど6種、水草は特定外来生物のオオフサモなど2種でした。

水質評価は「大変きれい」が4地点、「きれい」が7地点、「やや汚れている」が1地点でした。



寺家川・山田谷戸



鶴見川・水車橋



鶴見川 末吉橋

〔帷子川水系〕

西区を除く旭区と保土ケ谷区の4地点で、魚類13種、底生動物65種、水草2種が確認されました。またアユの流下仔魚が比較的多く確認されました。帷子川でアユは回遊しているようです。

貴重種は10種が確認されました。このうち魚類は、ホトケドジョウ、ウグイなど5種、底生動物はミルンヤンマなど3種、付着藻類はチャイロカワモズクなど2種でした。

人為的に持ち込まれた種は9種が確認されました。このうち魚類はタモロコ1種、底生動物は要注意外来生物のタイワンシジミ、アメリカザリガニなど6種、水草は要注意外来生物のオオカナダモなど2種でした。

水質評価は「大変きれい」が2地点、「きれい」が2地点でした。



帷子川・大貫橋上流



帷子川・鶴舞橋



帷子川・横浜新道下

【大岡川水系】

中区を除く磯子区、港南区、南区、中区の7地点で、魚類21種、底生動物98種、水草3種が確認されました。またアユの流下仔魚が確認されました。大岡川でアユは回遊しているようです。

貴重種は13種が確認されました。このうち魚類は、マルタ、シマドジョウなど6種、底生動物はコヤマトンボ、コシボソヤンマなど5種、付着藻類はオオイシソウなど2種でした。

人為的に持ち込まれた種は10種が確認されました。このうち魚類は国内他地域からの移入であるタカハヤなど3種、底生動物は要注意外来生物のタイワンシジミ、アメリカザリガニなど6種、水草は要注意外来生物のコカナダモ1種が確認されました。

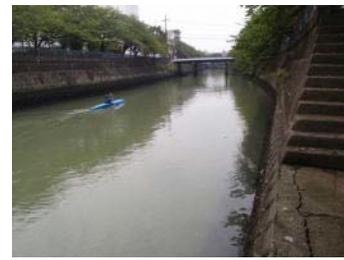
水質評価は「大変きれい」が5地点、「きれい」が1地点、「評価できない」が1地点でした。



大岡川・氷取沢



大岡川・曲田橋



大岡川・井戸ヶ谷橋

【境川水系】

港南区を除く瀬谷区、泉区、栄区、戸塚区の13地点で、魚類32種、底生動物121種、水草1種が確認されました。またアユの流下仔魚が比較的多く確認されました。境川でアユは回遊しているようです。

貴重種は20種が確認されました。このうち魚類はホトケドジョウ、カワアナゴなど12種が確認され、他水系に比べて回遊性の種類が多く確認されました。そのほか底生動物はマシジミなど6種、付着藻類はオオイシソウなど2種が確認されました。

人為的に持ち込まれた種は11種が確認されました。このうち魚類は特定外来種のカダヤシ、要注意外来種のカマツキなど5種、底生動物は要注意外来生物のタイワンシジミ、アメリカザリガニなど6種が確認されました。

水質評価は「大変きれい」が8地点、「きれい」が4地点、「汚れている」が1地点でした。

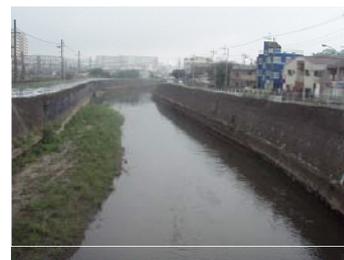
「汚れている」と評価された地点は、感潮域のために評価が難しい水域でした。



境川・稲荷川



和泉川・地藏原の水辺



柏尾川・鷹匠橋

【宮川水系】

金沢区を流れる宮川水系の2地点で、魚類9種、底生動物53種、水草1種が確認されました。

貴重種は5種が確認されました。このうち魚類はメダカとコイの2種ですが、両種とも放流個体が含まれている可能性があります。底生動物はコシボソヤンマなど3種でした。

人為的に持ち込まれた種は7種が確認されました。このうち魚類は改良品種であるイロゴイ1種、底生動物は要注外来生物のコウロエンカワヒバリガイとアメリカザリガニ、外来種の指定等のないコモチカワツボなど5種、水草は要注外来生物のオランダガラシ（クレソン）1種でした。

水質評価は「大変きれい」が1地点、「評価できない」が1地点でした。「評価できない」とされた地点は、感潮域のために評価が難しい水域でした。



宮川・清水橋上流



宮川・桜橋

【侍従川水系】

金沢区を流れる侍従川水系の3地点で、魚類5種、底生動物71種が確認されましたが、水草は確認されませんでした。

アユの流下仔魚は、少ないながらも確認されました。河川の規模がごく小さいことなどから、生息している個体は少なく、産卵できる環境も狭いと推測されます。

貴重種は4種が確認されました。このうち魚類は、スミウキゴリ1種、底生動物はヤマサナエとミルンヤンマの2種、付着藻類はタンスイベニマダラ1種でした。

人為的に持ち込まれた種は、底生動物の4種が確認されました。要注外来生物のコウロエンカワヒバリガイやタテジマフジツボ、外来種の指定等のないサカマキガイ、アメリカフジツボです。このうちサカマキガイ以外の3種は汽水性です。

水質評価は「大変きれい」が2地点、「評価できない」が1地点でした。「評価できない」とされた地点は、感潮域のために評価が難しい水域でした。



侍従川・金の橋上流



侍従川金の橋（左）



侍従川・六浦二号橋

4. 各区における結果

横浜市 18 区のうち、調査を行った 15 の区において、確認された水生生物と水質をまとめました。区の並びは五十音順とし、2つの区にまたがる調査地点は両方の区のデータとしました。

4.1 区別集計結果

各調査項目について、区別の結果を集計しました。

〔魚類〕

表 12 確認された魚類

No.	種名	青葉区	旭区	泉区	磯子区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	保土ケ谷区	緑区	南区
1	ウナギ							●	●		●		●			
2	コイ	●	●	●		●		●	●	●	●		●	●	●	
3	イロゴイ			●		●			●	●			●			
4	ギンブナ	●							●	●			●			
5	タイリクバラタナゴ										●				●	
6	オイカワ	●	●	●	●		●	●	●	●	●		●	●	●	
7	アブラハヤ			●	●		●		●		●		●		●	
8	タカハヤ				●											
9	ヒメハヤ属				●											
9	マルタ					●										
10	ウグイ			●				●	●	●	●	●	●	●		
11	モツゴ	●	●	●			●		●	●	●		●	●	●	
12	タモロコ		●	●	●				●	●			●	●	●	
13	カマツカ	●						●			●				●	
14	ドジョウ	●	●	●	●		●		●	●	●		●		●	
15	シマドジョウ				●		●									
16	ホトケドジョウ		●		●								●		●	
17	ナマズ									●						
18	アユ		●	●		●	●	●	●		●		●	●	●	●
19	ボラ						●	●	●				●			●
20	セスジボラ															
21	カダヤシ							●	●		●				●	
22	グッピー								●				●			
23	メダカ			●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●
24	ヒメダカ	●			●								●			
25	スズキ											●				
26	コトヒキ					●										
27	ブルーギル											●				
28	オオクチバス											●				
29	クロサギ															
30	カワアナゴ												●			
31	ボウズハゼ								●							
32	スミウキゴリ				●	●	●	●	●		●			●		
33	ウキゴリ						●							●		
34	ピリンゴ					●	●	●								
35	ウロハゼ											●				
36	マハゼ					●	●	●	●		●	●	●			●
37	アシシロハゼ								●							
38	ヒメハゼ					●										
39	ヒナハゼ											●				
40	アベハゼ					●		●				●				●
41	ゴクラクハゼ								●							
42	シマヨシノボリ			●			●		●				●			
43	オオヨシノボリ								●				●			
44	トウヨシノボリ	●	●	●	●			●	●		●		●			
45	カワヨシノボリ	●													●	
46	ヌマチチブ						●	●	●		●		●	●		
47	チチブ					●						●				
48	クサフグ					●										
	種数	9	8	12	11	12	15	15	24	9	16	10	22	10	13	5
	調査地点数	3	3	3	3	5	3	3	4	1	4	1	5	1	4	1

※コイなど、流域に生息していても調査時・地点で確認されないときは●にならないことがあります。

[底生動物]

表 13-1 確認された底生動物

No.	種名	青葉区	旭区	泉区	磯子区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	保土ヶ谷区	緑区	南区
1	ナミウズムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	
2	ヒメタニシ	●							●							
3	カワニナ	●	●		●	●	●		●				●		●	
4	チリメンカワニナ				●	●							●			
5	ウミゴマツボ				●	●										
6	コモチカワツボ				●	●	●									
7	カワコザラガイ				●	●			●							
8	ヒメモノアラガイ			●	●	●	●						●			
9	モノアラガイ科		●		●	●	●		●					●	●	
10	サカマキガイ			●	●	●	●		●				●	●		
11	コウロエンカワヒバリガイ				●	●										
12	タイワンシジミ	●	●	●			●	●	●		●		●			
13	マシジミ								●							
14	マシジミ属	●	●		●	●	●		●				●			
15	イガイダマシ											●				
16	ヤマトカワゴカイ					●										●
17	イトゴカイ					●						●				●
18	エラミミズ	●							●				●			
19	エラオイミズミミズ属															●
20	ミズミミズ亜科	●			●	●	●									●
21	イトミミズ亜科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
22	管毛綱		●	●					●	●	●	●	●	●	●	
23	ヌマビル							●	●				●	●	●	
24	シマイシビル	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	
25	ピロウドシビル	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	
26	ウマビル										●					
27	タテジマフジツボ					●										
28	アメリカフジツボ					●										●
29	キスイタナイス					●										●
30	イソコツブムシ属										●					
31	ミズムシ(甲殻類)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
32	ニホンドロソコエビ					●						●				
33	フロリダマミズヨコエビ	●		●					●	●	●	●	●	●	●	
34	アゴトゲヨコエビ												●			
35	ヤマトヌマエビ						●		●				●			
36	ミソレスマエビ							●	●				●			
37	ミナミヌマエビ			●									●	●	●	
38	ヌマエビ					●							●	●	●	
39	ヌカエビ		●		●	●	●				●		●		●	
40	ミナミテナガエビ								●				●			
41	ヒラテナガエビ			●					●				●			
42	テナガエビ			●					●				●	●		
43	ユビナガスジエビ					●						●				●
44	スジエビ		●	●					●				●	●	●	
45	スジエビモドキ															
46	アメリカザリガニ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
47	ハサミシヤコエビ					●										
48	ユビナガホソヤドカリ					●										
49	クロベンケイガニ					●		●								●
50	モクスガニ							●	●				●	●	●	
51	ケフサイソガニ								●			●				
52	サワガニ		●	●	●	●			●				●	●	●	
53	ミツオミジカオフタバコカゲロウ		●	●		●			●		●		●	●	●	
54	ヨシノコカゲロウ				●	●										
55	フタバコカゲロウ													●		
56	サホコカゲロウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
57	フタモンコカゲロウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
58	シロハラコカゲロウ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
59	Jコカゲロウ									●						
60	フタバカゲロウ属															●
61	ウスイロフトヒゲコカゲロウ		●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	
62	Dコカゲロウ				●				●				●	●	●	
63	ヒメウスバコカゲロウ属				●		●		●		●		●	●	●	
64	Hコカゲロウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
65	シロタニガワカゲロウ			●		●		●	●	●	●	●	●	●	●	
66	フタスジモンカゲロウ				●	●										
67	ヒメシロカゲロウ属				●				●							
68	クワイトトンボ属								●				●			
69	アジアイトトンボ												●			
70	ハグロトンボ		●	●	●		●	●		●	●	●	●	●	●	
71	ニホンカワトンボ												●		●	
72	アサヒナカワトンボ				●	●			●							
73	ヤマサナエ				●	●			●				●	●	●	
74	ダビドサナエ				●	●	●		●				●	●	●	
75	オナガサナエ			●						●			●			
76	コオニヤンマ	●			●	●			●		●				●	
77	クロスジギンヤンマ				●	●			●							
78	ギンヤンマ				●	●										●
79	ロシボソヤンマ				●	●	●		●				●			
80	ミルンヤンマ		●		●	●			●							
81	オニヤンマ		●		●	●			●				●			
82	コヤマトンボ				●	●	●		●		●				●	
83	ショウジョウトンボ				●	●			●						●	
84	シオカラトンボ			●	●	●	●	●	●		●		●		●	
85	オオシオカラトンボ				●	●			●				●			
86	コシアキトンボ								●				●			

表 13-2 確認された底生動物

No.	種名	青葉区	旭区	泉区	磯子区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	保土ヶ谷区	緑区	南区
87	フサオナシカワゲラ属				●	●			●							
88	オナシカワゲラ属	●	●		●	●			●				●		●	
89	ホソカワゲラ科				●	●										
90	ヤマトフタツメカワゲラ				●	●			●						●	
91	ヒメイトアメンボ													●		
92	アメンボ		●	●	●	●	●						●	●		●
93	シマアメンボ		●		●	●			●				●			
94	タイコウチ	●														
95	ミズカマキリ										●				●	
96	チビミズムシ属					●			●			●				
97	センブリ属					●			●							
98	ヤマトクロスジヘビトンボ		●		●	●			●				●			
99	ヘビトンボ				●	●			●							
100	コタニガワトビケラ属				●	●			●							
101	コガタシマトビケラ	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●	●	●	
102	ナミコガタシマトビケラ				●	●			●							
103	ウルマーシマトビケラ	●	●	●	●	●	●	●	●				●	●	●	
104	クダトビケラ属	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●	●	●	
105	ミヤマイトビケラ属					●			●							
106	ヒメトビケラ属	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	
107	カクツツトビケラ属		●		●	●			●							
108	アオヒゲナガトビケラ属				●	●					●				●	
109	ホソバトビケラ		●													
110	クマガトビケラ					●			●							
111	モンキマメゲンゴロウ				●										●	
112	シジミガムシ属													●		
113	ガムシ科 (幼虫)			●			●		●				●	●		
114	ゲンジボタル (幼虫)	●			●	●			●				●		●	
115	チビヒゲナガハナノミ属				●		●						●			
116	ヒメマルヒラタドROMシ					●										
117	ヒメドROMシ科 (幼虫)					●										
118	ヒメガガンボ属	●	●	●	●	●	●	●			●		●	●	●	
119	Dicranota 属				●				●							
120	Erioptera 属														●	
121	ヒゲナガガガンボ属				●				●							
122	Limnophila 属								●							
123	Limonia 属						●						●			
124	Ormosia 属				●	●			●							
125	Yamatotipula 亜属	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●	●	●	
126	ガガンボ属		●		●	●			●						●	
127	ガガンボ科								●							
128	ホソカ属		●		●	●							●			
129	科					●										
130	チョウバエ属	●					●	●			●			●	●	
131	オオケチョウバエ属					●					●				●	
132	ツノマユブユ属					●							●			
133	ブユ属		●	●				●			●					
134	ユスリカバエ科						●									
135	Bezzia 属		●	●		●									●	
136	ヌカカ科			●									●			
137	ホカシヌマユスリカ属	●	●			●			●				●			
138	コヒメユスリカ属				●	●			●							
139	ヤマトヒメユスリカ族	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	
140	ケブカエリユスリカ属				●	●			●							
141	ハダカエリユスリカ属	●		●		●			●		●			●	●	
142	ツヤユスリカ属	●	●			●			●		●			●	●	
143	テンマクエリユスリカ属					●	●		●					●	●	
144	エラノリユスリカ属				●				●							
145	キリカキケバネエリユスリカ属				●	●			●							●
146	コガタヒメユスリカ属								●		●					●
147	エリユスリカ属								●		●					
148	ニセトゲアシエリユスリカ属				●				●							
149	ニセナガレツヤスリカ属		●	●		●	●	●	●	●	●		●		●	
150	ニセケバネエリユスリカ属				●	●			●				●			
151	クロツヤエリユスリカ属	●				●			●		●					
152	ナガレツヤユスリカ属	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	
153	ヌカユスリカ属	●	●		●	●			●		●		●		●	
154	セスジユスリカ	●	●	●		●	●	●	●	●	●		●		●	
155	ユスリカ属	●				●			●		●		●		●	
156	カマガタユスリカ属	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	
157	ホソミユスリカ属			●				●		●			●			
158	セボリユスリカ属	●							●		●		●		●	
159	ナガスネユスリカ属		●													
160	ツヤムネユスリカ属				●	●										
161	カワリユスリカ属				●				●							
162	ハモンユスリカ属	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	
163	ナガレユスリカ属	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	
164	ハムグリユスリカ属				●	●			●				●			
165	アシマダラユスリカ属				●	●			●		●					
166	ヒゲユスリカ属	●		●	●	●	●	●	●	●	●		●		●	
167	クロモンナガレアブ	●							●							
168	コモンナガレアブ								●							●
169	サツマモンナガレアブ					●				●						●
170	ミズアブ科					●	●									
171	オドリバエ科								●							
172	アシナガバエ科				●	●		●		●			●			
	種数	42	51	48	77	89	49	49	94	28	59	16	69	40	70	8
	調査地点数	3	3	3	3	5	3	3	4	1	4	1	5	1	4	1

[水草]

表 14 確認された水草

種名	青葉区	旭区	泉区	磯子区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	保土ヶ谷区	緑区	南区
オランダガラシ					●								●		
オオフサモ	●														
オオカナダモ		●					●			●				●	
コカナダモ						●									
エビモ						●									
ヤナギモ						●	●			●				●	
アイノコイトモ												●			
種数	1	1	0	0	1	3	2	0	0	2	0	1	1	2	0

[付着藻類（抜粋）]

表 15 確認された付着藻類貴重種

種名	青葉区	旭区	泉区	磯子区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	保土ヶ谷区	緑区	南区
アオカワモズク	●														
チャイロカワモズク	●	●										●			
オオイシソウ		●	●	●		●	●	●	●	●	●		●	●	
タンスイベニマダラ				●	●										
種数	2	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0

[水質評価]

表 16 水質を評価した地点数

評価	青葉区	旭区	泉区	磯子区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	保土ヶ谷区	緑区	南区
大変きれい		2	3	3	3	2		2		2		3		4	
きれい	2	1				1	3	2	1	2	1	2	1		
やや汚れている	1														
汚れている															
評価できない					2										1
地点数	3	3	3	3	5	3	3	4	1	4	1	5	1	4	1

4.2 各区における結果概要

各区で確認された水生生物や水質などの結果の概要を、区別にまとめました。確認された貴重種と外来種のカテゴリー等、水質評価については、下記記号で表しました。

[貴重種]

国（環境省レッドリスト）と県（神奈川県レッドデータブック）で指定されている貴重種のカテゴリーを下記の記号で表しました。

表 17 貴重種の記号とカテゴリー

記号		カテゴリー	説明
環境省 RL	神奈川県 RDB		
★★★★★	★★★★★	絶滅危惧 IA 類	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
★★★★★	★★★★★	絶滅危惧 IB 類	IA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
★★★★	★★★★	絶滅危惧 II 類	絶滅の危険が増大している種
★★★	★★★	準絶滅危惧	存続基盤が脆弱な種
—	★★	要注意	分布がある程度以上把握されていて、生息地あるいは生息個体数が著しく減少している種
—	★	注目種	種の分布域が県内に固有または分布の限界になっていて、生息環境が脆弱で環境悪化すると絶滅が危惧されるもの
☆	☆	情報不足	評価するだけの情報が不足している種

※ 放流の可能性のある種については、「※放流？」としています。

[外来種等]

外来生物法で指定されている特定外来生物の他、外来種や国内移入種、改良品種など、人為的に持ち込まれた種について、下記の記号で表しました。

表 18 外来種等の記号とカテゴリー

記号	カテゴリー等	説明
×××××	特定外来生物	外来生物法により、飼育、栽培、保管及び運搬することが原則禁止
××××	要注意外来生物	法的な規制はないが、生態系に悪影響を及ぼす可能性がある
×××(?)	外来種(の可能性)	海外から人為的に持ち込まれた種、持ち込まれた可能性のある種
××(?)	国内移入種(の可能性)	国内の他地域から持ち込まれた種、持ち込まれた可能性のある種
×	改良品種	観賞用等の品種として改良された種

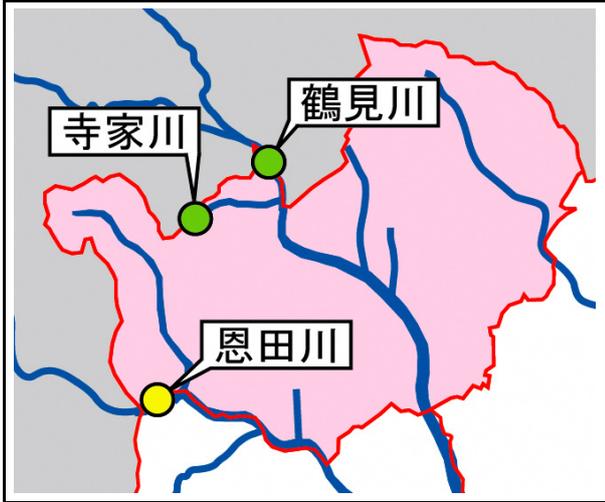
[水質評価]

各調査地点の水質評価を地図上に表しました。

表 19 水質評価の記号とカテゴリー

記号	水質評価
●	大変きれい
●	きれい
●	やや汚れている
●	汚れている
●	評価できない

青葉区(鶴見川水系)で確認された水生生物



青葉区内の鶴見川水系の3地点で調査。魚類9種、底生動物42種、水草1種、付着藻類貴重種2種を確認。
 水質評価は、鶴見川と寺家川は「きれい」、恩田川は「やや汚れている」。



鶴見川・寺家川 山田谷戸 鶴見川・恩田川 堀の内橋



オイカワ



ドジョウ



カマツカ ★★★



台湾シジミ ××××



ゲンジボタル(幼虫)



オオフサモ ×××××

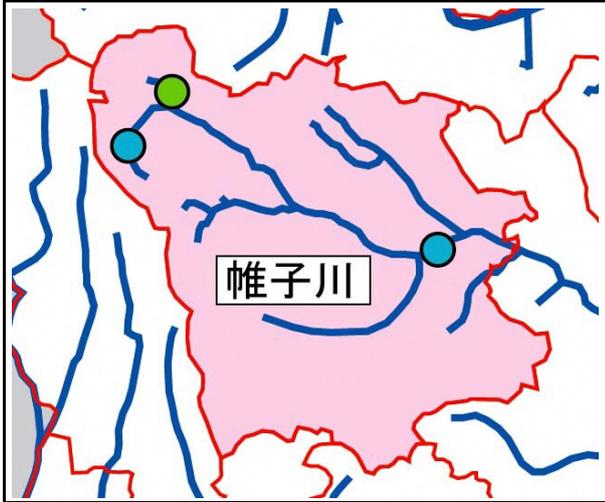
魚類(貴重種)
コイ ※放流? ☆
カマツカ ★★★
(外来種等)
ヒメダカ ×
カワヨシノボリ ××
(その他代表種)
ギンブナ
オイカワ
モツゴ
ドジョウ
トウヨシノボリ
計9種

底生動物(貴重種)
—
(外来種等)
台湾シジミ ××××
フロリダマシゴキヨコヒ ☆
アメリカザリガニ ××××
(その他代表種)
ヒメタニシ
カワニナ
イトミミズ亜科
ミズムシ(甲殻類)
サホコカゲロウ
Hコカゲロウ
フタモンコカゲロウ
コオニヤンマ
タイコウチ
コガタシマトビケラ
ゲンジボタル(幼虫)
ハモンユスリカ属
セスジユスリカ
計42種

水草(貴重種)
—
(外来種等)
オオフサモ ×××××
(その他代表種)
—
計1種
付着藻類(貴重種)
チャイロカワモズク ★★★
アオカワモズク ★★★
計2種

(調査実施：平成20年7～9月、平成21年1～2月一部)

旭区(帷子川水系)で確認された水生生物



旭区内の帷子川水系3地点で調査。魚類8種、底生動物51種、水草1種、紅藻類2種を確認。
 水質評価は、源流と中流の2地点は「大変きれい」、上流の1地点は「きれい」。



帷子川 大貫橋上流



帷子川 鶴舞橋



ホトケドジョウ ★★★★★★☆☆☆☆



オイカワ



トウヨシノボリ



タイワンシジミ ××××



ハグロトンボ ★



オオカナダモ ××××

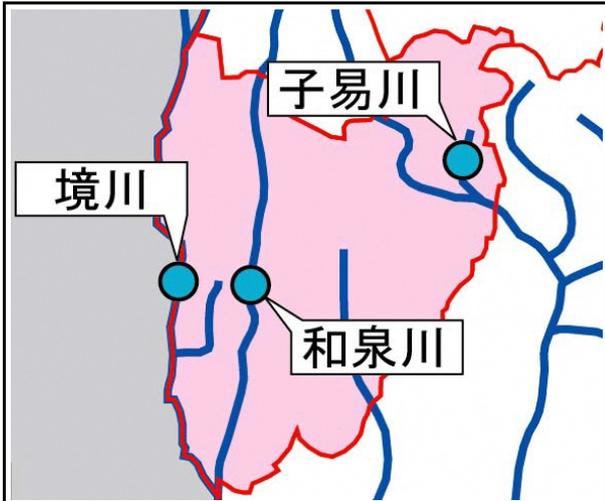
魚類 (貴重種)
コイ ※放流? ☆
ホトケドジョウ ★★★★★★ ★★★★★
(外来種等)
タモロコ ××
(その他代表種)
オイカワ
モツゴ
ドジョウ
アユ
トウヨシノボリ
計8種

底生動物 (貴重種)
ハグロトンボ ★
ミルンヤシマ ★
(外来種等)
アメリカザリガニ ××××
タイワンシジミ ××××
モノアラガイ科 ×××(?)
(その他代表種)
ナミウズムシ
カワニナ
イトミミズ亜科
ピロウドイシビル
ミズムシ (甲殻類)
フタモンコカゲロウ
オニヤンマ
オナシカワゲラ属
アメンボ
コガタシマトビケラ
ヒメトビケラ属
ハモンユスリカ属
計51種

水草 (貴重種)
—
(外来種等)
オオカナダモ ××××
(その他代表種)
—
計0種
付着藻類 (貴重種)
チャイロカワモズク ★★★★★
オオイシソウ ★★★★★
計2種

(調査実施：平成20年7～9月、平成21年1～2月一部)

泉区(境川水系)で確認された水生生物



泉区内の境川水系3地点で調査。魚類12種、底生動物48種、紅藻類1種を確認。
水質評価は、3地点とも「大変きれい」。



境川・和泉川 地蔵原の水辺

境川 高鎌橋



アブラハヤ ★★★



アユ



トウヨシノボリ



フロリダマシスヨコエビ ×××



アメリカザリガニ ××××



オオイソウ ★★★★★

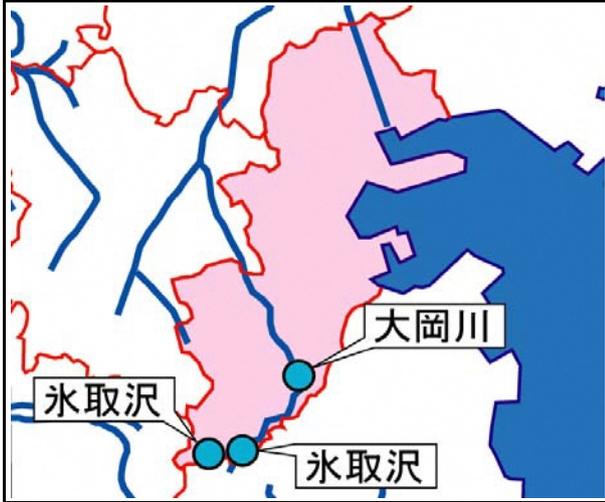
魚類 (貴重種)	
コイ ※放流?	☆
アブラハヤ	★★★★
ウグイ	★★★★
メダカ ※放流?	★★★★★
★★★★★	★★★★★
(外来種等)	
イロゴイ	×
タモロコ	××
(その他代表種)	
オイカワ	
モツゴ	
ドジョウ	
アユ	
シマヨシノボリ	
トウヨシノボリ	
計12種	

底生動物 (貴重種)	
ハグロトンボ	★
(外来種等)	
サカマキガイ	×××
タイワンシジミ	××××
フロリダマシスヨコエビ	×××
ミナミヌマエビ	××?
アメリカザリガニ	××××
(その他代表種)	
ナミウズムシ	
イトミミズ亜科	
ヒラテテナガエビ	
スジエビ	
サワガニ	
Hコカゲロウ	
オナガサナエ	
シオカラトンボ	
アメンボ	
コガタシマトビケラ	
ハモンユスリカ属	
計48種	

水草 (貴重種)	
—	
(外来種等)	
—	
(その他代表種)	
—	
計0種	
付着藻類 (貴重種)	
オオイソウ	★★★★★
計1種	

(調査実施: 平成20年7~9月、平成21年1~2月一部)

磯子区(大岡川水系)で確認された水生生物



磯子区内の大岡川水系(源上流)3地点で調査。
 魚類11種、底生動物77種、紅藻類2種を確認。
 水質評価は、3地点とも「大変きれい」。



大岡川 氷取沢



大岡川 陣屋橋上流



オイカワ



アブラハヤ ★★★



シマドジョウ ★★★



コシボソヤンマ ★



コモチカワツボ ×××



オオイシソウ ★★★★★

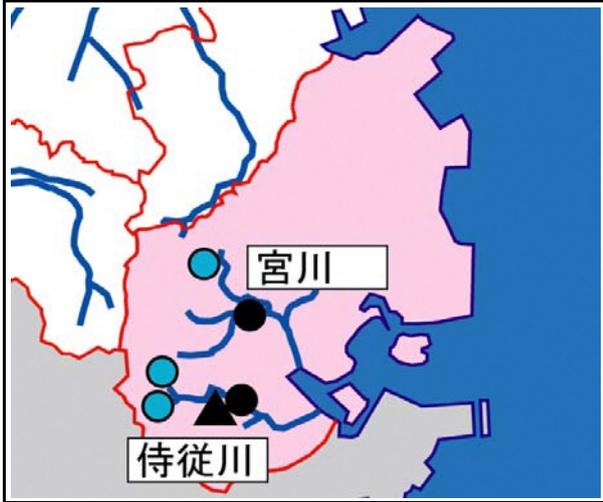
魚類(貴重種)	
アブラハヤ	★★★★
シマドジョウ	★★★★
ホトケドジョウ	★★★★★
メダカ ※放流?	★★★★★
スミウキゴリ	★★★★★
(外来種等)	
タカハヤ	××
タモロコ	××
ヒメダカ	×
(その他代表種)	
オイカワ	
ドジョウ	
トウヨシノボリ	
計11種	

底生動物(貴重種)	
ハグロトンボ	★
ヤマサナエ	★
コシボソヤンマ	★
ミルンヤンマ	★
コヤマトンボ	★★
(外来種等)	
コモチカワツボ	×××
モノアラガイ科	×××(?)
アメリカザリガニ	××××
(その他代表種)	
サワガニ	
ヒメシロカゲロウ属	
コオニヤンマ	
ギンヤンマ	
オニヤンマ	
ショウジョウトンボ	
ヘビトンボ	
ナミコガタシマトビケラ	
ゲンジボタル(幼虫)	
計77種	

水草(貴重種)	
-	
(外来種等)	
-	
(その他代表種)	
-	
計0種	
付着藻類(貴重種)	
オオイシソウ	★★★★★
タンスイバニマダラ	★★★★
計2種	

(調査実施：平成20年7～9月、平成21年1～2月一部)

金沢区(宮川水系・侍従川水系)で確認された水生生物



金沢区内の宮川水系2地点、侍従川水系3地点で調査。魚類12種、底生動物89種、水草1種、紅藻類1種を確認。
 水質評価は、上流側の3地点は「大変きれい」。下流側の2地点は「評価できない」。
 侍従川のアユの流下仔魚は、11月15日の日没後3時間で推定9個体が流下。



宮川 清水橋上流



侍従川 六浦二号橋



メダカ ★★★★★★★★★★



スミウキゴリ ★★★



チチブ



コウエンカワバリガイ ××××



コモチカワツボ ×××



オランダガラシ ××××

魚類 (貴重種)	
スミウキゴリ	★★★★
メダカ ※放流?	★★★★★
コイ ※放流?	★★★★★ ☆
(外来種等)	
イロゴイ	×
(その他代表種)	
アユ	
コトヒキ	
ピリンゴ	
マハゼ	
ヒメハゼ	
アベハゼ	
チチブ	
クサフグ	
計12種	

底生動物 (貴重種)	
ヤマサナエ	★
コシボソヤンマ	★
ミルンヤンマ	★
(外来種等)	
コモチカワツボ	×××
サカマキガイ	×××
コウエンカワバリガイ	××××
タテジマフジツボ	××××
アメリカフジツボ	×××
アメリカザリガニ	××××
(その他代表種)	
カワニナ	
ウミゴマツボ	
キシイタナイス	
ヨシノコカゲロウ	
アサヒナカワトンボ	
オニヤンマ	
フサオナシカワゲラ属	
ゲンジボタル (幼虫)	
計89種	

水草 (貴重種)	
-	
(外来種等)	
オランダガラシ	××××
(その他代表種)	
-	
計1種	
付着藻類 (貴重種)	
タンスイベニマダラ	★★★★
計2種	

(調査実施：平成20年7～9月、平成21年1～2月一部)

港南区(大岡川水系)で確認された水生生物



港南区内の大岡川水系3地点で調査。魚類15種、底生動物49種、水草3種、紅藻類1種を確認。
水質評価は、日野川と大岡川上流は「大変きれい」、大岡川の下流は「きれい」。



大岡川・日野川 高橋



大岡川 日野川合流点下



オイカワ



マルタ

★★★★



スミウキゴリ

★★★



コヤマトンボ

★★



コモチカワツボ

×××



コカナダモ

××××

魚類 (貴重種)	
マルタ	★★★★★
アブラハヤ	★★★★
シマドジョウ	★★★★
メダカ ※放流?	★★★★★
スミウキゴリ	★★★★★
(外来種等)	
—	
(その他代表種)	
オイカワ	
モツゴ	
ドジョウ	
アユ	
ボラ	
ウキゴリ	
ピリンゴ	
マハゼ	
シマヨシノボリ	
ヌマチチブ	
計15種	

底生動物 (貴重種)	
ハグロトンボ	★
コシボソヤンマ	★
コヤマトンボ	★★
(外来種等)	
コモチカワツボ	×××
モノアラガイ科	×××(?)
サカマキガイ	×××
タイワンシジミ	××××
アメリカザリガニ	××××
(その他代表種)	
ナミウズムシ	
カワニナ	
イトミミズ亜科	
シマイシビル	
ヤマトヌマエビ	
Hコカゲロウ	
シオカラトンボ	
ウルマーシマトビケラ	
ナガレツヤユスリカ属	
計49種	

水草 (貴重種)	
—	
(外来種等)	
コカナダモ	××××
(その他代表種)	
エビモ	
ヤナギモ	
計3種	
付着藻類 (貴重種)	
オオイシソウ	★★★★★
計1種	

(調査実施：平成20年7～9月、平成21年1～2月一部)

港北区(鶴見川水系)で確認された水生生物



港北区内の鶴見川水系3地点で調査。魚類は15種、底生動物は49種、水草は2種、紅藻類1種を確認。
水生生物による水質評価は、鶴見川、矢上川の3地点とも「きれい」。
アユの流下仔魚は11月11日の日没後3時間で推定220個体が流下。



鶴見川 第三京浜下



鶴見川・矢上川 一本橋



オイカワ



カマツカ ★★★



ヌマチチブ



モクズガニ



フロリダマシゴキ ×××



オオカナダモ ××××

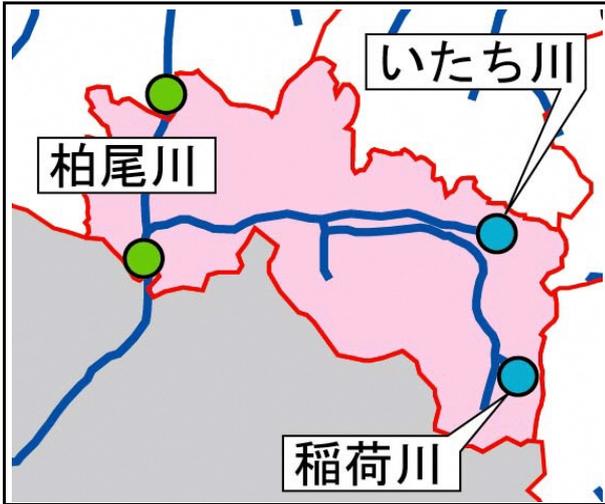
魚類 (貴重種)	
ウナギ	☆
コイ ※放流?	☆
ウグイ	★★★★
メダカ ※放流?	★★★★★
カマツカ	★★★★
スミウキゴリ	★★★★
(外来種等)	
カダヤシ	×××××
(その他代表種)	
オイカワ	
ボラ	
ピリンゴ	
マハゼ	
アベハゼ	
トウヨシノボリ	
ヌマチチブ	
アユ	
計15種	

底生動物 (貴重種)	
ハグロトンボ	☆
(外来種等)	
タイワンシジミ	××××
フロリダマシゴキ	×××
アメリカザリガニ	××××
(その他代表種)	
ナミウズムシ	
イトミミズ亜科	
ピロウドイシビル	
ミズムシ (甲殻類)	
ミゾレヌマエビ	
テナガエビ	
クロベンケイガニ	
モクズガニ	
Hコカゲロウ	
シオカラトンボ	
コガタシマトビケラ	
ナガレツヤスリカ属	
セスジユスリカ	
計49種	

水草 (貴重種)	
—	
(外来種等)	
オオカナダモ	××××
(その他代表種)	
ヤナギモ	
計2種	
付着藻類 (貴重種)	
オオイシソウ	★★★★
計1種	

(調査実施：平成20年7～9月、平成21年1～2月一部)

栄区(境川水系)で確認された水生生物



栄区内の境川水系(源上流~中下流)4地点で調査。魚類24種、底生動物94種、紅藻類1種を確認。水質評価は、上流側のいたち川と稲荷川は「大変きれい」、柏尾川の2地点は「きれい」。



境川・稲荷川 杉之木橋上流 境川・柏尾川 鷹匠橋



オイカワ



アブラハヤ ★★★



シマヨシノボリ



マンジミ ★★★



ミナミテナガエビ



オオイシソウ ★★★★★

魚類(貴重種)	
オオヨシノボリ	★★★★
アブラハヤ	★★★★
メダカ ※放流?	★★★★★
コイ ※放流?	☆
ボウズハゼ	★★★★
ウナギ	☆
ウグイ	★★★★
スミウキゴリ	★★★★
ゴクラクハゼ	★★★★
(外来種等)	
イロゴイ	×
タモロコ	×
カダヤシ	×
グッピー	×
(その他代表種)	
シマヨシノボリ	
アユ	
アシシロハゼ	
計	24種

底生動物(貴重種)	
マンジミ	★★★★
ヤマサナエ	★
コシボソヤンマ	★
ミルンヤンマ	★
コヤマトンボ	★★
(外来種等)	
モノアラガイ科	×××(?)
サカマキガイ	×××
タイワンシジミ	××××
フリダマシヨコエビ	×××
アメリカザリガニ	××××
(その他代表種)	
ナミウズムシ	
イトミミズ亜科	
ミズムシ(甲殻類)	
ヤマトフタツメカワゲラ	
コガタシマトビケラ	
ゲンジボタル	
ハモンユスリカ属	
計	94種

水草(貴重種)	
—	
(外来種等)	
—	
(その他代表種)	
—	
計	0種
付着藻類(貴重種)	
オオイシソウ	★★★★★
計	1種

(調査実施:平成20年7~9月、平成21年1~2月一部)

瀬谷区(境川水系)で確認された水生生物



瀬谷区内の境川水系1地点で調査。魚類9種、底生動物28種、紅藻類1種を確認。
水質評価は、「きれい」。



境川 日黒橋



ギンブナ



オイカワ



ウグイ ★★★★



フロリダマリスヨコエビ ×××



サホコカゲロウ



オオイシソウ ★★★★★

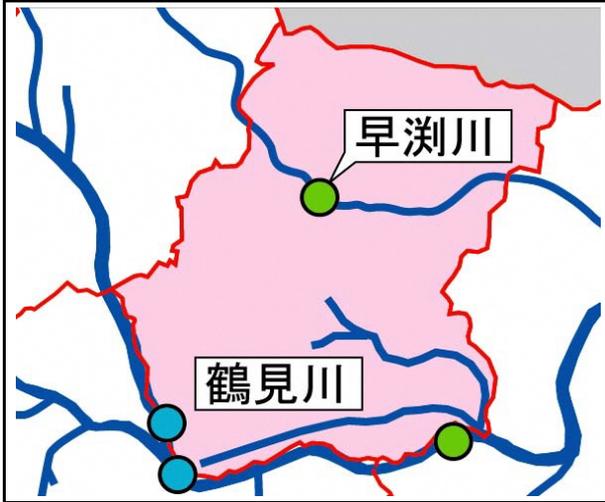
魚類 (貴重種)	
コイ ※放流?	☆
ウグイ	★★★★
ナマズ	★
(外来種等)	
イロゴイ	×
タモロコ	××
(その他代表種)	
ギンブナ	
オイカワ	
モツゴ	
ドジョウ	
計 9 種	

底生動物 (貴重種)	
ハグロトンボ	★
(外来種等)	
フロリダマリスヨコエビ	×××
(その他代表種)	
ナミウズムシ	
イトミミズ亜科	
シマイシビル	
ミズムシ	
ミツオミジカオフトタバコカゲロウ	
サホコカゲロウ	
Hコカゲロウ	
オナガサナエ	
ナミコガタシマトビケラ	
ウルマーシマトビケラ	
ヒメトビケラ属	
ヤマトヒメユスリカ族	
ナガレツヤユスリカ属	
セスジュスリカ	
アシナガバエ科	
計 28 種	

水草 (貴重種)	
—	
(外来種等)	
—	
(その他代表種)	
—	
計 0 種	
付着藻類 (貴重種)	
オオイシソウ	★★★★★
計 1 種	

(調査実施：平成20年 7～9月、平成21年 1～2月一部)

都筑区(鶴見川水系)で確認された水生生物



都筑区内の鶴見川水系4地点で調査。魚類16種、底生動物59種、水草2種、紅藻類1種を確認。
 水質評価は、鶴見川の上流側の2地点は「大変きれい」、鶴見川下流側地点と早淵川は「きれい」。



鶴見川・早淵川 境田橋



鶴見川 第三京浜下



オイカワ



カマツカ ★★★



メダカ ★★★★★★★★★★



モクズガニ



ハグロトンボ ★



オオカナダモ ××××

魚類(貴重種)	
メダカ ※放流?	★★★★★
カマツカ	★★★★★★
コイ ※放流?	☆☆
アブラハヤ	★★★★
ウグイ	★★★★
スミウキゴリ	★★★★
ウナギ	★
(外来種等)	
タイリクバラタナゴ	××××
カダヤシ	××××
(その他代表種)	
オイカワ	
ドジョウ	
ヌマチチブ	
トウヨシノボリ	
モツゴ	
アユ	
マハゼ	
計	16種

底生動物(貴重種)	
ハグロトンボ	★
コヤマトンボ	★★
(外来種等)	
タイワンシジミ	××××
フロリダマシゴキ	×××
アメリカザリガニ	××××
(その他代表種)	
イトミミズ亜科	
イソコツブムシ属	
ミズレヌマエビ	
テナガエビ	
モクズガニ	
サホコカゲロウ	
コオニヤンマ	
シオカラトンボ	
ミズカマキリ	
コガタシマトビケラ	
ナガレツヤユスリカ属	
セスジユスリカ	
計	59種

水草(貴重種)	
オオカナダモ	××××
(その他代表種)	
ヤナギモ	
計	2種
付着藻類(貴重種)	
オオイシソウ	★★★★★
計	1種

(調査実施：平成20年7～9月、平成21年1～2月一部)

鶴見区(鶴見川水系)で確認された水生生物



鶴見区内の鶴見川水系1地点で調査。魚類10種、底生動物16種、紅藻類1種を確認。水質評価は、「きれい」。



鶴見川 末吉橋



ウグイ ★★★



メダカ ★★★★★★



マハゼ



イガイダマシ ××××



ヤマトカワゴカイ



オオイシソウ ★★★★★

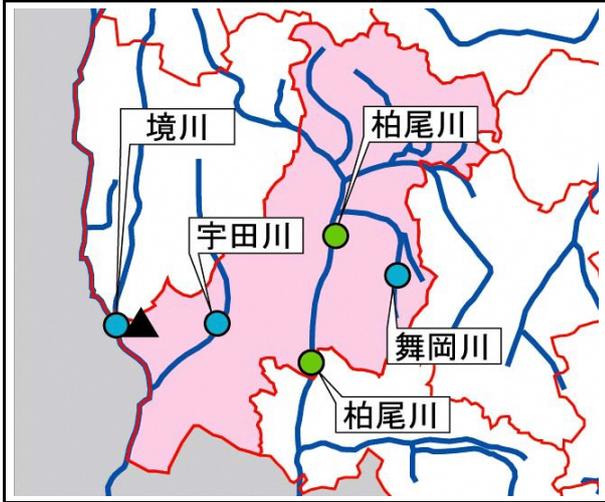
魚類 (貴重種)	
ウグイ	★★★★
メダカ ※放流?	★★★★★
	★★★★★★
(外来種等)	
ブルーギル	×××××
オオクチバス	×××××
(その他代表種)	
アベハゼ	
マハゼ	
ウロハゼ	
スズキ	
ヒナハゼ	
チチブ	
計10種	

底生動物 (貴重種)	
-	
(外来種等)	
イガイダマシ	××××
(その他代表種)	
ヤマトカワゴカイ	××××
イトゴカイ	
イトミミズ亜科	
貧毛綱	
ニホンドロソコエビ	
ユビナガスジエビ	
ケフサイソガニ	
チビミズムシ属	
ツヤユスリカ属	
セスジユスリカ	
ユスリカ属	
カマガタユスリカ属	
セボリユスリカ属	
ハモンユスリカ属	
アシマダラユスリカ属	
計16種	

水草 (貴重種)	
-	
(外来種等)	
-	
(その他代表種)	
-	
計0種	
付着藻類 (貴重種)	
オオイシソウ	★★★★★
計1種	

(調査実施：平成20年7～9月、平成21年1～2月一部)

戸塚区(境川水系)で確認された水生生物



戸塚区内の境川水系5地点で調査。魚類は22種、底生動物69種、水草1種、紅藻類1種を確認。
 水質評価は、舞岡川、宇田川、境川は「大変きれい」、柏尾川の2地点は「きれい」。
 アユの流下仔魚は、11月14日の日没後3時間で推定約17000個体が流下。



境川 遊水地橋



境川・柏尾川
S下水処理場下流



オイカワ



アブラハヤ ★★★



カワアナゴ ★★★★★



オニヤンマ



サカマキガイ ×××



アイノコイトモ

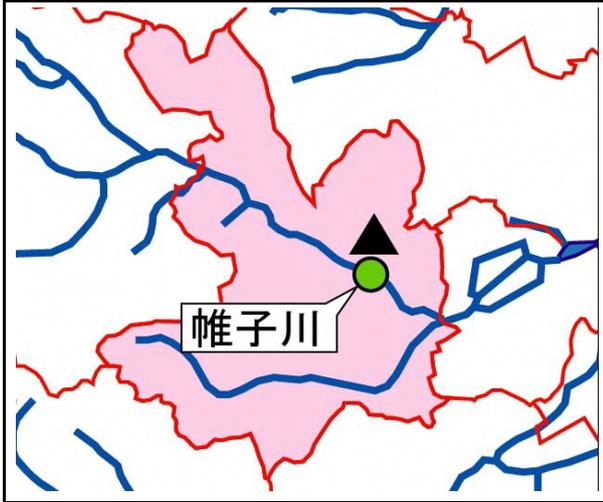
魚類 (貴重種)	
ウナギ	☆
コイ ※放流?	☆
アブラハヤ	★★★★
ウグイ	★★★★
ホトケドジョウ	★★★★★
メダカ ※放流?	★★★★★
カワアナゴ	★★★★★
オオヨシノボリ	★★★★
(外来種等)	
イロゴイ	×
タモロコ	××
グッピー	××××
ヒメダカ	×
(その他代表種)	
モツゴ	
アユ	
ボラ	
計	22種

底生動物 (貴重種)	
ハグロトンボ	★
ヤマサナエ	★
コシボソヤンマ	★
(外来種等)	
サカマキガイ	×××
タイワンシジミ	××××
フロリダマシヨコエビ	×××
ミナミヌマエビ	××(?)
アメリカザリガニ	××××
(その他代表種)	
ヒコカゲロウ	
クロイトトンボ属	
アジアイトトンボ	
オナガサナエ	
オニヤンマ	
シオカラトンボ	
コシアキトンボ	
コガタシマトビケラ	
ハモンユスリカ属	
計	69種

水草 (貴重種)	
—	
(外来種等)	
—	
(その他代表種)	
アイノコイトモ	
計	1種
付着藻類 (貴重種)	
チャイロカワモズク	★★★
計	1種

(調査実施：平成20年7～9月、平成21年1～2月一部)

保土ヶ谷区(帷子川水系)で確認された水生生物



保土ヶ谷区内の帷子川水系1地点で調査。魚類10種、底生動物40種、水草1種、紅藻類1種を確認。
 水質評価は、「きれい」。
 アユの流下仔魚は11月13日の日没後3時間で推定約12000個体が流下。



帷子川 横浜新道下



アユ



スマウキゴリ ★★★



ヌマチチブ



ヤマサナエ ★



ミナミヌマエビ ××?



オランダガラシ ××××

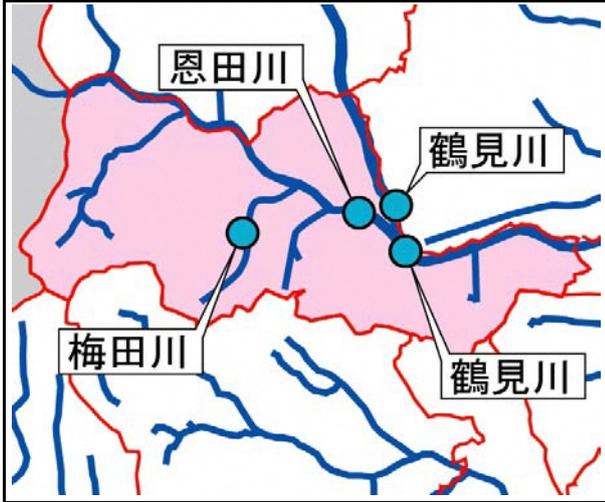
魚類 (貴重種)	
コイ ※放流?	☆
ウグイ	★★★★
メダカ ※放流?	★★★★★
	★★★★★★
スマウキゴリ	★★★★
(外来種等)	
タモロコ	××
(その他代表種)	
オイカワ	
モツゴ	
アユ	
ウキゴリ	
ヌマチチブ	
計8種	

底生動物 (貴重種)	
ハグロトンボ	★
ヤマサナエ	★
(外来種等)	
ミナミヌマエビ	××?
モノアラガイ科	×××(?)
サカマキガイ	×××
フナダマシヨコエビ	×××
(その他代表種)	
ナミウズムシ	
イトミミズ亜科	
ミズムシ (甲殻類)	
スジエビ	
モクズガニ	
フタモンコカゲロウ	
アメンボ	
ウルマーシマトビケラ	
クダトビケラ属	
チョウバエ属	
カマガタユスリカ属	
計40種	

水草 (貴重種)	
-	
(外来種等)	
オランダガラシ	××××
(その他代表種)	
-	
計1種	
付着藻類 (貴重種)	
オオイシソウ	★★★★★
計1種	

(調査実施：平成20年7～9月、平成21年1～2月一部)

緑区(鶴見川水系)で確認された水生生物



緑区内の鶴見川水系の4地点で調査。魚類13種、底生動物70種、水草2種、紅藻類1種を確認。水質評価は、鶴見川、恩田川、梅田川の4地点とも「大変きれい」。



鶴見川・梅田川 神明橋



鶴見川 落合橋



アブラハヤ ★★★



メダカ ★★★★★★★★



カワヨシノボリ ××



ハグロトンボ ★



トリダミズヨエビ ×××



ヤナギモ

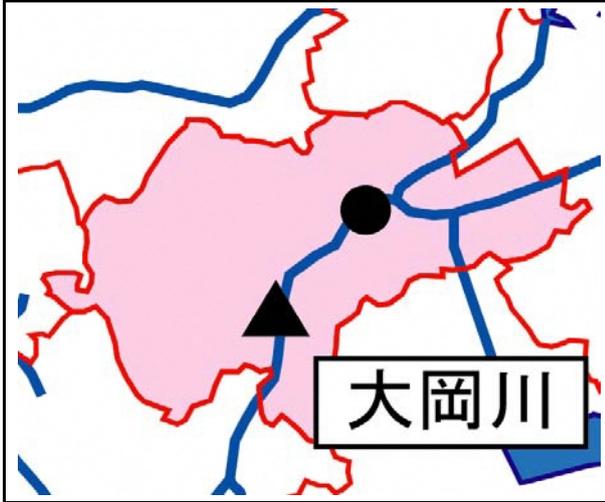
魚類 (貴重種)	
コイ ※放流?	☆
アブラハヤ	★★★★
カマツカ	★★★★
ホトケドジョウ	★★★★★
メダカ ※放流?	★★★★★
	★★★★★★
(外来種等)	
タイリカバラナゴ	××××
タモロコ	××
カダヤシ	×××××
カワヨシノボリ	××
(その他代表種)	
オイカワ	
モツゴ	
ドジョウ	
アユ	
	計13種

底生動物 (貴重種)	
ハグロトンボ	★
ニホンカワトンボ	★★
ヤマサナエ	★
コヤマトンボ	★★
(外来種等)	
モノアラガイ科	×××(?)
トリダミズヨエビ	×××
ミナミヌマエビ	××(?)
アメリカザリガニ	××××
(その他代表種)	
サホコカゲロウ	
ナガレツヤユスリカ属	
モクズガニ	
コオニヤンマ	
ギンヤンマ	
オニヤンマ	
シオカラトンボ	
ミズカマキリ	
ゲンジボタル (幼虫)	
	計70種

水草 (貴重種)	
	—
(外来種等)	
オオカナダモ	××××
(その他代表種)	
ヤナギモ	
	計2種
付着藻類 (貴重種)	
オオイソソウ	★★★★
	計1種

(調査実施：平成20年7～9月、平成21年1～2月一部)

南区(大岡川水系)で確認された水生生物



南区内の大岡川水系1地点で調査。魚類5種、底生動物8種が確認された。
感潮域のため、水質は「評価できない」。
アユの流下仔魚は、11月17日の日没後3時間で推定約1300個体が流下。産卵場は主に花見橋から青木橋の間と考えられる。



大岡川 井戸ヶ谷橋



ボラ



メダカ ★★★★★★★★★★



マハゼ



アメリカフジツボ ×××



クロベンケイガニ



ヤマトカワゴカイ

魚類 (貴重種)
メダカ ※放流? ★★★★★ ★★★★★★★★
(外来種等)
—
(その他代表種)
ボラ マハゼ アベハゼ アユ
計5種

底生動物 (貴重種)
—
(外来種等)
アメリカフジツボ ×××
(その他代表種)
ヤマトカワゴカイ イトゴカイ キシイタナイス ユビナガスジエビ クロベンケイガニ Hコカゲロウ アメンボ
計8種

水草 (貴重種)
—
(外来種等)
—
(その他代表種)
—
計0種
付着藻類 (貴重種)
—
計0種

(調査実施：平成20年7～9月、平成21年1～2月一部)